

ふれあいネットワーク

ふれあい



12月15日

世代間交流事業

「ふれあいもちつき」

～子供から大人まで
世代をこえてつながろう！～

12月15日(日)、「歳末たすけあい事業」として、別海町中央公民館において子供から大人までさまざまな世代の交流を目的に「ふれあいもちつき」を開催。

新聞紙を使った紙飛行機や紙鉄砲、あやとり、お手玉など昔あそびの後、もちつきやもちまきを楽しみました。(4ページをご覧ください)



 別海社協だより



社協だより「ふれあい」は赤い羽根共同募金の一部助成を受けて発行しています

発行 社会福祉法人 別海町社会福祉協議会

〒086-0203 北海道野付郡別海町別海西本町36番地

☎(0153) 75-2148 ・ ☎ 75-0457



平成二十六年新年のご挨拶

別海町社会福祉協議会

会長 木村 征俊

新年明けましておめでとございます。

町民の皆様には、健やかに新年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

また、平素より当社会福祉協議会に対しまして町民の皆様はじめ、関係諸団体のあたたかいご支援とご協力をいただいておりますことに、心から深く感謝を申し上げます。

昨年は、自然災害が多発し、多くの方々にとって多難な年でもあり、社会福祉を取り巻く環境は大きく変化し、これまで以上に地域を基盤とした福祉の推進が必要とされ、地域の皆様お一人おひとりに、その担い手になっていただくことも期待されております。

社協といたしましても、子供から高齢者、障がいのある方に至る誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域福祉の進展と充実を図り、

町民が主体となった組織づくりに努め、地域福祉の課題を少しでも前進できるよう取り組むとともに、各種事業の推進に努めて参ります。

特に、小地域ネットワーク事業については、今年も地域に向き、災害時の対応、高齢者等に対するネットワークづくり等、地域の皆さんと懇談、実習等を実施させていただき

ます。

また、地域における生活支援相談体制の強化、さらには日常生活自立支援事業等、これからも地域住民を主体とした在宅福祉の推進、ボランティアの育成、福祉教育、まちづくりの推進等、地域福祉を理念とする行政、福祉団体、町内会、民生委員児童委員、ボランティア団体と連携し、地域全体で支えあう地域福祉活動事業を展開しなければならぬと考えています。

さらに、介護保険による当社協が

実施しております訪問介護事業、居宅介護支援事業、訪問入浴介護事業、障害福祉サービス事業者として利用者が安心できる質の高いサービスの提供とケアプランの作成、町からの受託事業はじめケアハウスの指定管理経営等の向上に、より一層努力していく所存であります。

本年も、地域全体で支えあう住民活動を推進し、「健やかに暮らせる福祉のまち」を目指し、住民、町内会、関係団体、行政と協調、協働し、一体となり、役職員一同当面する課題に対応する所存でありますので、変わらぬご理解と一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご健勝とご多幸を心からご念願いたしまして新年のご挨拶いたします。

ストップ・ザ・交通事故！

—めざそう安心安全なまち—

これから路面凍結等のスリップによる交通事故が増える時期。天候悪化による災害も心配されます。

家庭、職場、地域で、毎日『交通安全』を呼びかけましょう。

■冬は雪道・わだち・路面凍結と危険がいっぱい。路面状況も刻々と変化します。冬道の特性をよく知って、スピードを控え安全運転

■高齢者や子供のいるところでは、思いやり運転を

■気象情報に十分注意し、無理な外出は控えよう



10月31日

第37回 別海町社会福祉大会開催

10月31日(木)、マルチメディア館において、別海町社会福祉大会を開催いたしました。

当日は、福祉関係者、受彰者、一般参加者など一八〇名の参加でありました。

式典では、社会福祉に貢献された方々の功績を讃え、会長表彰、感謝状の贈呈並びに北海道社会福祉協議

会長・北海道共同募金会長表彰、感謝状の伝達を行いました。

受彰者の皆様は下記のとおりです。

式典後、数多くの孤独死の現場に立ち会った遺品整理専門会社「キーパーズ」代表取締役 吉田太一氏を招き、「遺品が語る真実」と題し講演いただきました。

講演の一部をご紹介します。

「孤独死は、高齢者ばかりが注目されるが、むしろ五、六十代の働き盛りの特に男性に多い。元気なうちはまだしも、生活する過程で次第に『社会との接点』を喪失していくことが問題だ。

相手を認識して初めて自分自身も認識されるのであり、自分自身をアピールし、存在感を与えることはとても大切なこと」と話されました。

講師の吉田太一氏



表彰された方々のご紹介

(順不同)

■別海町社会福祉協議会 会長表彰

◆社協役員功労

白田 誠治様(尾岱沼潮見町)・清水 浩光様(別海宮舞町)

◆民生委員・児童委員活動功労

塩田 則芳様(西春別幸町)

◆ボランティア活動功労

吉田 一紀様(別海緑町)・田中アキノ様(別海旭町)

■別海町社会福祉協議会 会長感謝

◆高額の寄付

小崎 良子様(別海旭町)・卯野 斉一様(西春別)

岡崎 克彦様(大成)・及川 利之様(別海)

高橋 治子様(西春別幸町)

農事組合法人ヤマギシズム生活北海道別海実顕地様(別海)

■北海道社会福祉協議会 会長表彰

◆社協役員功労

伊藤 泰信様(別海)

■北海道共同募金会 会長表彰

◆優秀地区・団体

豊原連合町内会様

大成地区協議会様

光進町内会様

拓進地区会様

協和地区会様

中春別春寿会様

JA道東あさひ

女性部べつかい支部様

奥行桜クラブ様

33区地域会様

西春別町内会様

北矢新生クラブ様

◆優秀学校

別海町立上風連中学校様

◆共同募金運動功績者

大槻 文彦様(別海常盤町)

大森 博美様(尾岱沼潮見町)

佐々木 正彦様(別海常盤町)



平成25年度 赤い羽根共同募金運動および 歳末たすけあい募金運動実施

別海町共同募金委員会

平素より、共同募金活動に対し温かいご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、10月1日より実施致しました「赤い羽根共同募金運動」には、町民の皆様、企業団体、学校、老人クラブ、職域、街頭募金などに募金をお寄せいただき誠にありがとうございました。

お寄せいただいた募金は、北海道共同募金会に納めた後、審査委員会の審査を経て、平成26年度に福祉団

体や施設等へ助成ほか、地域福祉事業に活用させていただきます。

また、12月1日より実施した歳末たすけあい募金につきましても、職場・団体などよりご協力いただき誠にありがとうございました。

なお、社会福祉協議会では、この歳末募金を受け、町内の生活に困窮されている世帯、障がい者グループホーム、小規模作業所、特別支援教育推進委員会などへ歳末見舞金をお贈りしました。

平成25年度 赤い羽根共同募金実績

(2013年12月16日現在)

実績額 3,775,173円
目標額 4,700,000円
達成率 80.32%

募金種別	件数	金額
戸別	2,287件	1,639,569
街頭	4件	31,611
法人	299件	1,484,000
学校	8件	38,669
興行	2件	6,152
団体	4件	562,318
募金箱	14件	12,854
合計	2,618件	3,775,173



歳末たすけあいチャリティー 別海町民謡愛好会連絡協議会



今年も北海道コカ・コーラボトリング(株)中標津販売課様より飲料11ケースを寄贈いただき、町内の福祉施設へお届けしました。

コカコーラ社より 福祉施設へ今年も クリスマスプレゼント



別海町カラオケ連絡協議会



この日は、幼児から大人までいっしょに昔あそびを楽しみ、慣れない手つきで餅を丸める子供の愛らしい姿にみんなから温かい笑顔があふれていました。

ふれあいもちつき

子供から大人まで
世代をこえてつながろう！

12月15日(日)午前10時30分から別海町中央公民館で「ふれあいもちつき」を開催しました。

今、核家族が増え、昔の事を知る機会や異世代のふれあう機会が少なくなっています。

世代間交流事業

献血功労団体 表彰伝達式

日本赤十字社献血功労団体表彰伝達式が12月12日、別海町役場で開かれました。

活動年数15年以上の北海道別海高等学校に対し、日本赤十字社より銀色有功章及び記念品が別海町分区長の水沼猛町長より伝達されました。今後も安全な血液の供給ができるよう、皆様のご理解ご協力お願い致します。



神部勝利さん 「北海道福祉の まちづくり賞」受賞

別海町身体障がい者福祉協会会長の神部勝利さん（中西別）が10月に「北海道福祉のまちづくり賞」を受賞しました。

この賞は、福祉的配慮に優れた公共的施設等、障がい者・高齢者等の支援活動及び福祉用具制作に貢献した方に北海道知事より贈られます。神部さんは、出展した「ペンチ・プライヤー固定器」が評価され受賞となりました。

「魚釣りが趣味で作りました、今後も人の役に立つものを作りたい」と意欲を高めています。



各地で

地区懇談会を開催

別海町在宅介護者と歩む会



懇談会のようす

別海町在宅介護者と歩む会（米谷聡会長）では、在宅介護の悩みや課題を共有し、心の負担を少しでも軽減することを目的に10～11月に地区懇談会を開催しました。

別海・西春別駅前・尾岱沼・中西別・大成の5か所で、在宅介護の体験談や困ったこと、地域の現状などについて話し合いました。

参加者からは「一人で介護の苦勞を抱えていたが、自分と同じ経験をしている人とお話することで、少し心の荷が下りた」「在宅介護について知らなかったことが、たくさん見えて勉強になった」という声が聞かれ、有意義な懇談会となりました。

会員研修会開催

別海町身体障がい者福祉協会

11月13日（水）、別海町身体障がい者福祉協会（神部勝利会長）では、町内のNPO法人スワンの家が運営する「ふれあいの家」を会場に会員研修会を開催しました。

吉野宮子理事長より施設の概要や特徴、日々の仕事について説明いただき、バリアフリーになっている施設内を見学させていただきました。

その後、ふれあいの家で活動する「サークル布あそび」（小西美紀子代表）の指導で機織りに挑戦しました。参加した会員からは「また遊びに来たい」という声が聞かれました。



機織りに挑戦する会員

11月18日

「こどもは地域の宝」 西春別駅前地域福祉講演会

11月18日（月）午後6時30分より
西春別ふれあいセンターにおいて西
春別地域福祉講演会を開催しました。

当日は、釧路少年鑑別所所長 寺
崎武彦氏を招いて「こどもは地域の
宝」と題して講演いただきました。
西春別駅前連合町内会、幼稚園・
保育園、小・中学校、民生委員等、
日頃子どもと関わる方を中心に55名
の参加がありました。

寺崎所長は長年の経験を基に、子
育てにおいては、親として、教師と
して、地域の大人として、先入観を



福祉講演会のようす



講師の寺崎武彦氏

持たずに子どもと接すること、失敗
しても次の方法を一緒に考える、良
いこと悪いことを教えることができ
る関係づくりが必要といえます。

鑑別所では、一般の少年、家族、
学校、その他関係者からの相談も無
料で行っています。

非行・不良行為、家庭でのしつけ
の悩み、職場・学校でのトラブル、
友達の問題など、子どもに関するこ
と全般で悩みがありましたら、ぜひ
左記までお問い合わせください。

■釧路少年鑑別所

釧路市弥生町1の5の22

電話 0154-41-5808

※訪問、または電話相談も可能です。

10月20日

第19回「ふれあいの集い」 すぽれくまつり」開催

10月20日（日）別海町総合スポー
ツセンターにて「第十九回ふれあいの
集い／すぽれくまつり」を開催し、
百二十名が集いました。

この集いは、ノーマライゼーショ
ン理念（障がいや疾病、高齢であつ
ても普通に暮らせる社会という考え）
のもと今年で19回目を数え、障がい
のある人も高齢の人も高校生も一緒
に、八種目のスポーツレクリエーショ
ンで交流しました。

競技終了後の交流会では、柏の実
学園「柏の実バンド」の皆さんによ
る演奏と歌が会場を大いに沸かせて
くれました。



「柏の実バンド」の仲間たち



すぽれく競技

11月9日

小地域ネットワーク活動 「実践者交流会」開催

11月9日（日）交流館ぷらと（別海）を会場に、町内各地域でサロン活動や見守り活動などを実践する町内会関係者やたすけあいチーム、ボランティア等29名が集い、小地域ネットワーク活動実践者交流会を開催しました。

各地域の活動活性化を目指し、3地区の活動発表、懇談、サロンでも気軽にできるレクリエーションを行いました。



常盤町ふれあいサポート 飯島さん

懇談では、地域活動に若い世代の理解が得られない、酪農地帯で近所と距離がある、つきあいを拒む人がある等の悩みや、各地域の活動内容・工夫等について話し合いました。

この活動は、昔から自然に行われていた「隣近所のたすけあい」を基礎に、地域の福祉課題を発見し、町内会、社協、民生委員児童委員、行政、福祉機関などが連携するしくみをつくり、解決のために役割分担するものです。

活動するうえでは、援助する人、される人を色分けせず、住民同士が

支えあい、特定の役員などに負担が偏らない工夫も必要です。

社会福祉協議会では、「小地域ネットワーク」活動に取り組み地域を支援しますのでぜひご相談ください。



西春別町内会 小島さん



中春別町内会 安達さん

11月16日

役員・町内会長 研修会開催 別海町町内会連絡協議会

11月16日（土）川湯において、31名の参加により別海町町内会連絡協議会（曾根興三会長）の役員・町内会長研修会を開催しました。

磯田副町長より「これからの行政運営」をテーマに町財政、第六次総合計画、防災対策、特別養護老人ホームの運営等についてお話しいただきました。

その後、上風連連合町内会（高桑敬治会長）、西春別駅前連合町内会（鈴木實会長）より、地域における町内会活動についてそれぞれ発表いただき、事務局の担い手問題や自主防災活動の取り組みについて活発な意見交換を行いました。



上風連連合町内会 高桑会長

お知らせ

パート介護員の募集

- 職 種 パート介護員
- 募集人数 3名
- 業務内容 訪問介護業務・訪問入浴業務
- 資 格 介護福祉士・2級ヘルパー以上のいずれかをお持ちで普通運転免許証のある方
- 勤務時間・賃金 短時間雇用職員の就業等に関する細則による
- 勤務場所 別海町社会福祉協議会
- 提出書類 訪問介護事業所・訪問入浴介護事業所履歴書(写真貼付)・資格取得証明書(写し)を提出してください(履歴書の返却はできませんのでご了承ください)
- 締め切り 平成26年1月22日(水)まで提出書類を郵送、または別海町社会福祉協議会へ持参してください(郵送については、1月22日必着とします)
- 面接日時 平成26年1月27日(月) 午後1時30分より
- 面接会場 社会福祉法人 別海町社会福祉協議会
- 申 込 先 〒086-0203 別海町別海西本町36番地
- 問 合 先 社会福祉法人 別海町社会福祉協議会
電話 0153-75-2148
(土・日・祝祭日を除く午前9時から午後5時まで)

ボランティアセンターから

- ウエス提供のお願い
- ご家庭で不要になったタオルやシャツ、Tシャツ等がありましたらお寄せください。町内福祉施設等へウエスとして寄贈します。
- ※洗濯済の布をA4サイズ程度(30×22cm)に裁断してください
- 収集ボランティアありがとう
- リングブル 更屋 孝子 様
 - 使用済み切手 中春別つくしの会 鈴木 郁夫 様
 - 使用済み切手 大地みらい信用金庫別海支店 様
 - 使用済みテレホンカード 中春別郵便局 様
 - 佐藤 勢津子 様

あとかき

世界遺産にもなった和食の旨味が直されています。日頃の食生活を反省し、年末にはだしをたっぷり使った旨煮を作る予定です。また一年、健康でありますように

(A)

池田 昭子(本別海)
ヤマギシズム生活北海道別海実頭地(別海)
五石 裕一(上風連)
吉田 吉栄(別海)

多田 幸雄(西春別)
賣場 利國(美原)
由利 トヨ(別海寿町)
瀧口 良一(本別海)
宮西 隆(泉川)
村上キエノ(西春別)
高橋 雅子(西春別駅前栄町)
篠田 国雄(別海宮舞町)
門間 悦男(泉川)
佐藤 利昭(別海新栄町)
木原 隆(豊原)
村井 雅雄(別海)
木村也寸志(別海宮舞町)
岸田 健一(中標津町)
高津 泰範(西春別)
「ゴスペルデナイト」チャリティー
コンサート実行委員会

涌田 光雄(上春別)
阿部 進(尾岱沼潮見町)
十一月

献血にご協力ください

平成25年度・第3回 献血を実施致します

～下記の日程で「移動採血車「ひまわり号」が町内を巡回します～

実施日	実施場所	受付時間
1月20日(月)	J A道東あさひ本所兼別海支所	12:30～16:30
1月21日(火)	陸上自衛隊別海駐屯地	9:00～12:00
	J A道東あさひ西春別支所	13:30～16:30
1月22日(水)	別海町役場	9:00～11:45
		13:00～16:30
1月23日(木)	根室地区農業共済組合	9:00～10:30
	(株)べつかい乳業興社	11:00～12:00
	中春別農業協同組合	13:30～15:00
	北海道別海高等学校	15:40～17:00
1月24日(金)	J A道東あさひ上春別支所	9:00～11:00
	(株)明治 西春別工場	13:00～14:30
	森永乳業(株)別海工場	15:00～16:00

※陸上自衛隊別海駐屯地での献血は自衛隊員を対象としております。大変申し訳ございませんが、一般の方はご遠慮願います。

日本赤十字社別海町分區

別海町別海西本町36番地(社会福祉協議会内)
TEL 0153-75-2148

年間総献血量は、
男性 1200ml以内
女性 800ml以内です。

※献血カード(裏面)に記載しております「次回献血可能日」をご確認の上ご協力お願い致します。



ご寄付ありがとうございました

平成25年9月18日～平成25年12月15日まで

(敬称略)